

＜環境経済研究セミナー記録＞

平成9年9月11日(木)同12日(金)の両日、農業総合研究所において「環境経済研究セミナー」が行われた。

このセミナーを開催することになったのは、近年とみに喧しくなった、農業と環境を巡る諸問題にたいして、農業研究の立場からも積極的に取り組まなければならない、という意識が急速に高まってきたことによる。農業総合研究所においても、それらの問題に取り組み始めたのはほんのここ数年に過ぎない。したがってこのセミナーには、当所がこの間に蓄積したささやかな成果をできるだけ多くの人に共有していただきたいということと同時に、今後ますます多くの人々、とくに農業研究関係者に農業と環境との関係に関する研究に取り組むためのきっかけになればという願いがこめられている。

セミナーは、主として国や県の研究機関に

呼びかけ、青森から沖縄に至る約40名の参加を得て行われた。内容としては、できるだけすぐに役立つものを、ということで、環境ないし環境便益の経済評価手法に焦点をあてた。しかし一方でまた、農業と環境を巡る問題は国内だけでなく、国際的にも議論の焦点となっており、国際的な情報もできるだけ触れる機会を設けたいということも主催者の希望であったが、限られた時間の中では、大量の資料のみを提供するにとどまらざるを得なかった。

農業と環境は今後ますますその重要性を増す問題領域であり、これまで余り関心を抱いて来なかった農業関係者にとっては、取っつきにくいが解決すべき問題が山積している領域でもある。このセミナーがこれからの農業研究に環境への関心を盛り上げるいくばくかの助けになることを期待したい。

環境経済研究セミナープログラム

9月11日(木)

開 会

挨拶 農業総合研究所長 野中和雄

1. 環境問題の拡大と環境法

——「環境と農業」へアプローチするもうひとつの視点——

(立教大学教授) 淡路剛久

2. 農業と環境に関する議論と課題

(環境経済研究室) 合田素行

3. 米国におけるCVMの制度的展開

(環境経済研究室) 矢部光保

4. 環境の経済的評価手法

——代用市場法を中心に——

(環境経済研究室) 西澤栄一郎

9月12日(金)

5. CVMによる農林業の公益的機能評価

——調査設計から評価まで——

(生産構造研究室) 吉田謙太郎

6. 各地の事例、意見交換

閉 会